



～行きたい、働きたい、住み続けたい～
しあわせ実感都市 大村

施政方針

2月27日に開かれた市議会定例会で、園田市長は、平成30年度の市政運営の基本姿勢を示す『施政方針説明』を発表しました。

■企画政策課(内線226)

1 人を育むまち

市長就任以来「オール大村!」のスローガンのもと、市議会ならびに市民の皆さまのご理解とご協力を賜り、市民の福祉の向上と市勢の発展のために取り組んでまいりました。

これからも長崎県をけん引するトップランナーとして、「行きたい、働きたい、住み続けたい、しあわせ実感都市大村」の実現に向けて取り組んでまいります。

■中学校の空調設備の整備や小中学校のトイレの洋式化を計画的に進め、児童・生徒が快適に学べる環境づくりを推進します。

■肢体不自由児の安全・安心な教育環境の充実を図るため、大村小学校のエレベーター設置に着手します。

■平成31年1月をめぐりに、子ども医療費助成事業の対象を中学校卒業までに拡大するとともに、未就学児を対象とする医療費助成の方法を現物給付方式に変更します。

■県外から転入する保育士に対する就職祝金の加算などの人材確保策の拡充や、子育て支援員の配置などの保育士の負担軽減策を実施するとともに、認可外保育施設の認可保育施設への移行を促進します。

2 健康でいきいきと暮らせるまち

■「大村市地域包括ケアシステム推進基本計画」に基づき、関係機関と連携して地域包括ケアシステムの構築

を推進します。

■関係機関や団体とともに(仮称)大村市自殺対策計画を策定し、「誰も自殺に追い込まれることのない社会」の実現を目指して、自殺対策を推進します。

■「Wリーグサマーキャンプ2018」などトップレベルの選手のプレーに間近に触れる機会を設けることで、市民のスポーツへの関心を高め、スポーツ文化の普及や健康意識の向上を図ります。

3 安全・安心なまち

■防災行政無線については、災害や防災に関する情報だけにとどまらず、市民の安全・安心な生活に関する情報を伝達する手段として、今後もある有効な活用を図ります。

■通学路における交差点などの改良工事を実施し、児童・生徒の通学時の安全対策を推進します。

■住宅地域や小学校周辺などの交通安全を確保するため、時速30キロメートルの速度規制を行う「ゾーン30」を、これまで整備した校区に加え、今年度は西大村小学校周辺を整備します。

4 活力に満ちた産業のまち

■新工業団地の平成31年4月の分譲開始に向けた整備工事の促進と、分譲開始と同時の完売を目指して、企業の誘致活動に取り組みます。

■大村産「青ナマコ」をはじめとした各種農水産物のブランド化と販路拡大に努めるほか、「大村生まれ・大村育

ち」の「大村産長崎和牛」銘柄の確立や肥育技術の向上に向けて取り組むとともに、鈴田内倉地区で畑地帯の農地整備事業に取り組みます。

■世界文化遺産への本年の登録を目指している「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」と連動し、本市のキリスト教文化遺産を活用した巡礼ツアーを企画します。

5 機能的で環境と調和したまち

■長崎空港のコンセッション方式による空港民営化を推進し、さらに、運用時間の24時間化に向けた取組を推進します。

■九州新幹線西九州ルートの中線ルールの格化の実現を目指した取組を、長崎県や他の沿線自治体とともに推進します。

■バス路線網の再編に向けた「地域公共交通再編実施計画」の策定を推進します。

6 持続可能な行財政運営と市民協働の推進

■平成29年12月に策定した「大村市財政運営基本方針2017」に定められた「安定した財源の確保」、「歳出の抑制と適正化」、「財政運営の透明性の確保」の3つの基本方針を柱として、財政の適正化を図ります。

■大村市市民いきいき助成金の制度の見直しにより、市民のより多様な活動を支援できるようにし、市民協働のまちづくりをさらに推進します。



施政方針の全文
はこちらからご覧
いただけます。

上下水道事業

■ 財政計画を見直し、下水道使用料の値下げを実施します。

■ 上水道の老朽管の敷設替えや汚水の高度処理施設の整備を、引き続き推進します。

■ 県内自治体の水道事業では初となる小水力発電設備による発電を、本年4月から開始しました。

モーターボート競走事業

■ 本年9月末から、ナイターレース(愛称・発祥地ナイター)を導入するとともに、引き続き場外発売場の新設にも積極的に取り組みます。

■ 全国24場で初の障害者就労支援施設の設置となった前売場外おおむらの「CAFE WIN」と、ボートレース大村に本年4月にオープンしたお子様ランチ専門レストランの「KINO BUTA」において、障がい者の就労を支援するとともに、親子連れが入りやすい環境を整えることにより、来場者数の増員とファン層の拡大を図ります。

病院事業

■ 公立病院として政策医療を担うとともに、市民に安全で安心な医療を提供します。

■ グランドオープンに向けて、外来用駐車場やリハビリのために利用できる公園や散策路の整備を行います。

主な新規事業など

新幹線新大村駅(仮称)周辺整備事業

2022年度の開業に向け、アクセス道路や駅前広場をはじめとする公共施設の整備や民間企業の誘致に向けた取組を進めていきます。

移住・定住促進事業

本市の暮らしやすさ、移住に関する支援措置などをわかりやすく発信するなど、戦略的な移住プロモーションを展開するとともに、本市での暮らしを体験できる機会の提供を図り、移住者の増加を目指します。

手話推進事業

本年1月1日に県内で初めて施行した大村市手話言語条例の目的を達成するため、情報発信、出前手話講座などを実施します。

結婚応援事業

大村市で更なる出会いの場を創出するため、県から移管される婚活サポートセンターにおいて、結婚相談や婚活イベントなどを実施します。

中小企業人材育成支援事業

中小企業の人材確保や育成を図るため、新たに資格取得などにかかる費用を助成します。

中里原町線整備事業

工業団地などへのアクセス向上と地域振興につなげるため、中里原町線の道路改良工事の実施設計に着手します。

3世代同居・近居促進事業

本市への移住・定住を促し、人口増加につなげるため、新たに3世代で同居し、又は近居するための住宅取得や新築・改修工事にかかる費用を助成します。

心と郷土愛を育む ミュージカル鑑賞事業

中学生を対象に芸術文化鑑賞の機会の拡充と郷土愛の醸成を図るため、本市と秋田県仙北市との交流を生んだ浜田謹吾をテーマにしたミュージカルを鑑賞する機会を設けます。

新中地区公民館(仮称)建設事業

老朽化した建物を建て替えるため、2018年度に本体工事などに着手し、2019年度末の完成に向けて事業を推進します。

新「大村市立図書館」建設事業 大村市歴史資料館(仮称)整備事業

平成31年1月の竣工に向けて、学びや憩い、出会いの場として市内外からの多くの人たちに親しまれる図書館及び歴史資料館となるよう建物の整備と並行して、ソフト面の準備を推進します。

中学校給食センター建設事業

昨年開始した菅瀬中学校、玖島中学校に続き、本年8月から全中学校において学校給食を実施します。

写真を読み取って
施政方針発表を
CHECK!

ダウンロード方法は
24ページをご覧ください。



平成30年度
施政方針説明